

議会活動レポート

9月定例会から12月定例会の間に行った議会活動を報告します。13ページが産業建設民生常任委員会の所管事務調査、14～15ページが総務教育常任委員会の視察研修の報告です。

所管事務調査 (現地調査)

10月14日、産業建設民生常任委員会は、「タブの大島」で知られる船越大島の現地調査を行いました。

船着場と登山道をつなぐ橋が崩落しており、砂浜に船を着けて上陸。担当課から島に生息する野生生物などの説明を受けました。

その後、山頂にある東屋の確認や外洋に面する千畳敷やタブノキ自生地を調査しました。

調査後、結果をまとめ、町政に対し、所有者と協議し今後の船越大島の観光の在り方について検討に努めるよう要望しました。

産業建設民生 常任委員会



担当職員と千畳敷とタブノキを調査する議員

所管事務調査 (現地調査)

10月14日、船越大島の調査の後、令和元年台風19号で被害を受けた復旧工事を行っている準用河川女川(田の浜地区)を調査しました。

工期を延長予定との説明を受けました。調査後、結果をまとめ、町政に対し、工期の延長が常態化していることについて、最善の努力をして当初設定した工期の順守に努めるよう要望しました。



担当職員から説明を受ける議員